



日本二輪車普及安全協会
2022 アンバサダー 梅本まどかの

安全運転No.1

第17回 首都高速道路の パトロールバイクを じっくり取材してきました!

高速道路上でパトロールや安全の確保に活躍する黄色い車を見たことがある人も多いと思いますが、首都高速道路の山手トンネルには、なんとパトロールバイクが配備されているのです! ということで、今回はそれをじっくり取材してきました!



漆山大輔 主任
バイク隊員歴:7年



古賀弘樹 副班長
バイク隊員歴:10年



CB400乗りとしても
パトロールバイクの
活躍が嬉しいです!

愛知県に住んでいる私は、今まで首都高速にパトロールバイクがいることを知りませんでした。なぜ、首都高速でパトロールバイクが必要なのか。CB400スーパーポルドルをベース車両にしたのはどうしてなのか、など聞きたいことがたくさんあったのですが、お話を聞いて納得できました!

私の愛車はスーパーフォアですが、同じCB400。今回パトロールバイクをじっくり見せていただけで、とても興味深かったですし、最新型になってついたというグリップヒーターのお話もとても面白かったです。

いろいろ質問する中で、お二人ともバイクが好きでこのお仕事をされているということが伝わってきて、素敵だな、と思う一方で、山手トンネル内でのパトロールの大変さも感じました。撮影でパトロールバイクの基地も見学させていただきましたが、こんな所に出るんだ!と驚きつつ、出勤する姿がかっこよくて、ついつい見惚れてしまいました。

日々の点検を怠らず、出勤前にはしっかりと慣熟走行をしてから出発する

ベースはHONDA CB400SB!

首都高速中央環状線、道路トンネルで日本一長い山手トンネルでの事故・火災の発生時に迅速に対応するために誕生したパトロールバイク。機動力と操縦性の良さからCB 400 SBがベースに選ばれたのだそうです!



毎日の点検と練習は不可欠!

安全に、かつ迅速に駆け付けるバイク隊員に練習は不可欠。約8カ月の研修を経てからも、月1回の自主訓練、年2回の研修、そして毎日の慣熟走行を必ず行っているのです!



首都高速の道路交通情報もチェック! >>>>



山手トンネルで常時6台が活躍中

パトロールバイクは現在9台が配備されており、うち6台が大橋・志村・大井基地で有事に備えて待機しているそうです。勤務は2交代制で、24時間首都高の安全を守ってくれています。

バイク隊員の装備を拜見!



バイク隊員の主な装備がコチラ。エアバッグベスト、携帯無線機、Bluetooth受信機、スマホのほかにも、トンネル内の各設備に対応するための鍵束や警笛も装備しています。

なんと! バッテリーを2つ装備

前後の赤色灯、フロントスピーカーに加え、リアにもスピーカーを備えるのが特徴。電装品が多く負担が大きいため、バッテリーは2個搭載していますが、それでも毎日の充電は不可欠か!



首都高速・パトロールバイクの動画は9月公開!

日本二輪車普及安全協会 Youtubeチャンネル >>>>

今回は首都高速のパトロールバイク隊員、古賀さんと漆山さんに突撃取材! 普段聞けないお話をたくさん伺っています! もちろんパトロールバイクの走行シーンも満載。9月公開の動画をお楽しみに!



梅本まどかアンバサダー活動報告 >>>>



「ジャパンライダーズ」のツイッターもチェック! >>>>



姿も見せていただき、しっかりと任務をこなすためには、やはりこうした準備や練習がとても重要なんだなと改めて感じました。

今回の取材で、バイクが日夜安全のために活躍していることが分かって嬉しかったですし、黄色のマシンもかっこよかったです。たくさんの方に動画を見ていただきたいので、みなさんは是非チェックして下さいね!